



【自主 敬愛 勇健】～生徒も教師も生き生きと活動する学校～

＜上小移動音楽鑑賞会＞ ～生演奏の魅力を十分に感じ取ることができました～

上小地区の小中学校では、毎年、この時期に、優れた音楽を鑑賞することで、鑑賞能力の向上と豊かな情操を育むことを目的として、移動音楽鑑賞会を実施しています。過去3年間はコロナ禍のために中止していましたが、状況がよくなったことで再開されました。色々なジャンルのプロの音楽家が演奏に来てくださるので、生徒も職員も楽しみにしています。

一昨年度は、「ゴスペル」、昨年度は「ジャズ」でしたが、今年度は「アカデミー弦楽合奏団」の皆様やテノール歌手の方、マリンバ奏者の方に演奏を披露していただきました。テレビやデジタル機器などを通して聴く演奏とは異なり、生演奏の音は聴き手の体にストレートに響いてくるので、心が震えてしまいます。1年ぶりのプロの生演奏に、私はとても感動してしまいました。人によって感じ方や感じるものは異なりますが、生徒にも職員にも音楽の魅力を十分に感じることでできる時間になったと思います。本物のよさをまた味わいたいと思わせてくれる移動音楽鑑賞会でした。来年度はどんなジャンルの音楽で、どんな音楽家の方々に来ていただけるのか楽しみにしています。

※演奏の途中で、奏者のバイオリンの弦が切れてしまうというハプニングがありました。「弦が切れた音を聞いた」という生徒がいたようですが、私は、その音に気づきませんでした。その奏者は、とっさに、もう一人の奏者とバイオリンを交換して演奏を続けていました。私はすごいパフォーマンスだなと感心して見ていたのですが、そうではなく、弦が切れてしまったための応急的な対応であったことを後に知りました。自分の集中力のなさを恥ずかしく思います。

※マリンバは木琴と似ている楽器です。楽器の種類に知識の薄い私は、その違いは大ききで、木琴の大型がマリンバと思っていましたが、そうではないことが、説明を聞き、よく分かりました。木琴よりマリンバの方が、鍵盤が厚く、音域が広いという違いがあるとのことでした。



＜学校運営委員の皆様が生徒の生活の様子を参観していただきました＞

～地域で子どもたちを育てていくために、これからもご支援とご協力をお願いいたします～

5月22日(木)に、今年度の第1回目の学校運営委員会を開催しました。「学校の運営や教育活動について意見を出し合い、考え合いながら共に学校づくりを進めていく」ことを趣旨として、毎年2回開催しています。昨年度までは、自治会代表の方やボランティア代表の方、民生児童委員代表の方にはサポーターとして、学校運営委員会にご協力いただいていたのですが、今年度からはサポーターを学校運営委員に統合させ、引き続きご協力いただくことにいたしました。

委員の皆様には、授業を参観していただき、生徒の様子について「どの授業も楽しそうに受けていた」「眠そうにしている生徒が見られずに感心した」「先生との関係がよい」などの感想をいただきました。また、「先生が生き生きと授業を展開している」「先生も生徒以上に頑張っていることが分かる」などの感想もいただき、とてもうれしく思いました。学校運営に関することについてもご意見をいただきましたので、今後の検討材料にさせていただきます。委員の皆様には、生徒の校外での様子についても、お気づきになった姿をご連絡いただきたいと思います。生徒や学校がよくなっていく方策を委員の皆様と共に考えていきたいです。

